

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：中島 威夫

事業名 一般国道2号 西条バイパス	事業区分 一般国道 (二次改築)	事業主体 中国地方整備局
起終点 自：広島県東広島市西条町上三永 至：広島県東広島市八本松町宗吉		延長 11.3 km
事業概要 一般国道2号は、大阪市を起点とし、瀬戸内海沿岸の主要都市を経由し北九州市に至る延長約680kmの主要幹線道路である。 西条バイパスは、東広島市街地の慢性的な交通混雑の解消及び、交通安全の確保を目的とした延長11.3kmの道路である。		
S49年度事業化	S49、S61年度都市計画決定	S53年度用地着手
全体事業費 約540億円		事業進捗率 67%
計画交通量 60,400台/日		供用済延長 8.5km
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 3.6 (残事業) 7.9	総費用 (残事業)/(事業全体) 122/865億円 (事業費: 91/741億円) (維持管理費: 31/124億円)
	総便益 (残事業)/(事業全体) 959/3,145億円 (走行時間短縮便益: 937/2,890億円) (走行費用減少便益: 13/198億円) (交通事故減少便益: 9/57億円)	基準年 平成15年
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（新幹線駅東広島駅へのアクセス向上が見込まれる） ・個性ある地域の形成（広島中央テクノポリス計画などを支援） 他16項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 西条バイパスは、東広島市街地の交通混雑を解消するとともに東広島バイパス及び安芸バイパスと連結し、広島市や周辺地域の発展に重要な役割を果たすことが期待されており、広島県議会議員で構成される広島県中央地域振興対策協議会などより早期整備の要望を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 周辺開発の増進や人口増加に伴い、慢性的な交通混雑や事故多発が生じている。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 現在までに、バイパス区間である8.5を2車線で供用している。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 一部において用地取得が難航している。積極的に用地交渉を進め、早期供用が図れるよう事業を推進する。		
施設の構造や工法の変更等 建設副産物の発生抑制や再生材利用等により、コスト縮減に努めている。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの